



ムーアの教会(天井高8メートル)に奉納された花で飾られた柱



花の柱をかつぐ青年達は、祭の前日できたての柱をもちよる



リンドウ(*Gentiana clusii*) ヤグルマギク(*Centaurea cyanus*)



ナデシコ(*Dianthus sylvestris*) シヤクヤク(*Paeonia officinalis*)



ハゴロモグサ(*Alchemilla vulgaris*) ミヤコグサ(*Lotus corniculatus*)



アルニカ(*Arnica montana*) マーガレット(*Leucanthemum vulgare*)



アルプで摘んだ花を束ね、茎を芯にして麻糸でくくり花紐を作る。



花柱をかつぐ青年がいる家の小屋に隣人が集まり花紐作り





花紐を柱に巻き付けて模様を作る役は、一人の男性の仕事



家族や隣人が 300 時間ぐらいかけて、4~5 万個の花を飾る



重さ80キロ近くある花柱を未婚の若者が掲げて村を巡行する



以前は地域ごとに花柱を作って 10 本もあった。2010 年は 6 本



ローファアのアルプは薬草の宝庫、神様の薬局と呼ばれる



集めた花は、巻きずしのような花束にして 8 月 15 日に教会へ

